

南中 学校だより

NO.5 R4.7.19
茨木市立南中学校
足立 英幸



2泊3日の修学旅行 実施できました！

2年前は修学旅行が実施できず日帰りの校外学習に、昨年は1泊2日、神戸・大阪方面での実施、そして今年度、日程変更・行先変更にはなりましたが、2泊3日の修学旅行を実施することができました。

1日目は原爆資料館の見学、平和記念像前で平和セレモニー、そして夜はクラスミーティングを行いました。原爆が投下された現地での取り組みで、小学校の修学旅行で広島に人が多

いと思いますが、それから3年経過後、小学校のとき以上に自分事として戦争の恐ろしさや平和の大切さについて深く感じたのではと思います。

2日目、午前中は班別長崎市内散策、午後はペーロン体験、夜は学年レクを行いました。晴天でとても暑い中での市内散策でした。班からはぐれてしまった人もいましたが、13時の集合には全員が遅れることなく集合できました。午後のペーロン体験では、どのクラスも懸命にカンを漕ぎ、頑張ってくれました。2組が圧倒的な強さを見せてくれました。学年レクでは、取り組み期間が大変短かったのですが、有志発表、クラス発表ともに会場は大盛り上がりでした。



3日目は午前中、班別大宰府天満宮周辺散策を行いました。バスの駐車場から天満宮まで一本道でその両側にたくさんのお店があり、天満宮でお参りをする生徒、途中のお店で土産を買う生徒と、それぞれの時間を過ごしました。昼食は豚骨ラーメンと串揚げなどの定食で、ボリューム満点の食事でした。昼食後、博多駅から新幹線に乗り、一路茨木へ。午前中の大変暑い中での散策で生徒たちは疲れていると思っていましたが、新幹線内では復活し、楽しそうに過ごしていました。

あっという間の2泊3日でした。平和について感じ考え、仲間と共に楽しい思い出がいっぱいできた修学旅行でした。

水難事故に注意！

夏場は水辺で遊ぶ機会があると思いますが、水辺は危険がいっぱいです。特に川や海は見た目にはわからない危険が潜んでいる場合がたくさんあります。

河川では近隣の安威川や淀川で小中学生の死亡事故も発生しています。深みにはまったり、予想以上の流れの速さで流されてしまい、命をおとすような事故が毎年のように起こっています。「自分は大丈夫」とは決して思わないでください。事故は思わぬところで発生するものなのです。海での事故も毎年のように多く起こっています。危険な場所には近づかない！危険な遊びをしない！必ず守ってください！

川のことをよく知ろう！ ～急な増水や深みに注意！！～

川で遊ぶことは、すごく楽しい。魚捕りやカヌー、水遊び、たくさんの楽しみがみんなを待っている。

でも川には、急な増水や背が届かないくらい深いところ、水の流れが速いところ、滑りやすいところなどの危険があるんだ。「天気」に常に気を配る、「川の様子をよく見る」などいくつかの注意で、急な増水や川底の深みによる水難事故を未然に防ぎ、安全に川を楽しもう！

1 川に行く前に

- 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ！
- 川に近づく場合は、ライフジャケットなど活動に合った準備をしよう。

2 川に着いたら

- 川に関する注意看板があれば確認しよう。
- 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもからは目を離さない。
- 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況についても把握しよう。

3 急な増水や川底の深みに注意！

- 雨が降り増水すると川底になるぞ。特に、中州にいると川に取り残されて逃げられなくなるぞ！
- 平常時でも、落着きの近くや川底には深みがあるぞ。深みにはまると溺れるぞ！
- 川には流れがあり、常に変化しているぞ！
- 一見穏やかに見えても急に深くなる所や滑りやすい所があるぞ！

4 すぐに避難！

- 空が曇ったり、濁った水が流れて来たら、直ちに避難しよう！すぐに川は増水するぞ！
- パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

5 中州は危険！

増水すると川に取り残されるぞ！

「水難事故防止リーフレット」より

こんなことに気を付けよう!!

- 上流の画**
今いる場所と結んでも、上流や流域の局地的豪雨で、一気に川の水が増え、水位が上昇することがある。
- 落着き**
川の中にある段差の近くでは、強い流れに引き込まれたりする。
- 浮き石**
うっかり足をのせるとバランスを崩し、落水することもある。
- 穏やかな流れ**
一見穏やかに見える流れも、川底の影響で流水は一定ではない。川の事故の約90%はこの穏やかな流れで発生している。

平常水位

増水時

深みがあるぞ！気を付けよう!!

増水時をイメージしよう!

中州は危険！増水すると川に取り残されるぞ！

「ドリルパーク」や「タブレットドリル」を活用して！学期の復習を！

夏休み中、タブレット端末を家に持ち帰っていますので、是非ミライシードの「ドリルパーク」や「タブレットドリル」を活用して！学期の復習をしてください。

「タブレットドリル」は南中学校や茨木市教育センターのホームページにログイン画面があります。「タブレットドリル」にログインする際の「団体コード」、「個人ID」、「パスワード」を記載した個票（下参照）を配付していますので、失くさないようにして活用してみてください。

「タブレットドリル」は、ID、パスワードを入力すれば、今まで使ったことがある人は、学習履歴が残っているの、どこまで学習したか確認できます。また、ノートパソコンやスマホでも使用できます（一部使用できない機種があります）。名前に「タブレット」となっていますが、タブレットではないパソコンやスマホでも使用することができます（一部使用できない機種があります）ので、まだ使ったことがない人は、一度使ってみてください。

「ドリルパーク」、「タブレットドリル」ともに大変効率よく学習できるソフトですので、是非活用してください。

タブレットドリル ログイン情報				団体コード	個人ID	パスワード
●年	●組	●●	●●	272116-104t	●●●●●	●●●●●

タブレット端末涼しいところで保管を！ 壊れないように注意を！

タブレット端末は強い日差しや熱には弱いです。日差しが直接当たるところに置いたり、窓を閉め切って熱がこもっている暑い部屋等で保管していると、バッテリーが膨張してしまい故障したり、電源コードなどが壊れてしまう可能性がありますので、日差しが直接当たらない、家の中で比較的涼しい場所で保管してください。

暑い時期なので、水分補給しながらタブレットを使用することもあると思いますが、コップや水筒などはタブレットの近くに置かないでください。コップなどが倒れ、タブレット内に水分が入ってしまうと、壊れてしまいますので、十分注意してください。

また、使い終わったあと、出しっぱなしにしていたり、畳や床に置いたままにしていると、誤って壊してしまう場合がありますので、使うたびにきちんと片付けてください。壊れて使えなくなることがないように気を付けてください！



一人で悩まないで！

まもなく35日間の夏休みが始まります。長い夏休みで、学校に来ない日も多くなります。また、8月12日（金）～14日（日）は学校閉校日です。家にいる時や学校が閉まっている日などに悩みなど相談したいと思ったときには、市の相談窓口や左に記載した機関でも相談が可能ですので活用してください。相談した内容の秘密は守ってくれます。安心して相談してください。一人で悩まないで相談してください。

○『すこやか教育相談24』

0120-0-78310

＊24時間対応の電話相談窓口です。（IP電話からは、かかりません。）

○大阪府教育センター『すこやか教育相談』

すこやかホットライン（子どもからの相談） 06-6607-7361

Eメール：sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

さわやかホットライン（保護者からの相談） 06-6607-7362

Eメール：sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp

しなやかホットライン（教職員からの相談） 06-6607-7363

Eメール：sinayaka@edu.osaka-c.ed.jp

＊電話相談 午前9時30分～午後5時30分 月～金曜日（祝日・休日・年末年始は除く）

＊Eメール相談 24時間受付（回答は後日）

＊FAX相談 06-6607-9826

○被害者救済システム『子ども家庭相談室』＊大阪府教育委員会が運用する権利擁護機関による相談窓口です。

（18歳未満のみの対応）0120-928-704【無料電話】

（保護者等）06-4394-8754

＊午前10時～午後8時 月・火・木曜日（祝日・休日は除く）

○児童相談所全国共通ダイヤル

189「イチハヤク」 ＊児童虐待に関する通告や子育ての悩み等の相談窓口です。

○『LINE相談』

実施日：毎週月曜日（令和5年1月2日を除く）

※特設日 令和4年8月21日、8月30日、8月31日、9月1日、令和5年1月10日

相談受付時間：午後5時～午後9時

相談対象者：府内の小学校・義務教育学校・中学校・高等学校・支援学校の児童生徒

＊学校に配付される『LINE相談』カードに掲載されているQRコードからアクセスができます。

カードがない場合は、各校で掲示されるポスターをご覧ください。